

中国の民主化と民族問題を考える勉強会

日時： 1月17日(日) 17時45分～20時30分

会場： 大久保地域センター3階 会議室A

(新宿区大久保2-12-7)

「独立中文筆会（独立中国ペンクラブ）」のメンバーの陳破空氏が来日されます。氏は天安門事件のときからの民主化活動家であり、ウイグル、チベットなどの中国の民族問題についても理解のある方です。

ウイグル問題を考える会として、陳氏や日本ウイグル協会のイリハム氏らを招き、中国の民主化と中国の民族問題を考える勉強会を行いたいと思います。

皆様のご参加お待ちしております。

ゲスト： 陳 破空氏（独立中文筆会）
イリハム マハムティ氏（日本ウイグル協会会長）
三浦 小太郎氏（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表）
王 進忠氏（中国民主団結聯盟副主席、独立中文筆会・獄委会）
永山 英樹氏（台湾研究フォーラム会長）
オルホノド ダイチン氏（モンゴル自由連盟党幹事長）
他

参加費：1000円 主催：ウイグル問題を考える会

◆陳破空氏について

陳破空氏はアメリカ滞在の、中国民主化活動家、政治論説家、作家。1963年四川省三台県生まれ。

湖南大学、上海同済大学で学ぶ。1985年に、他の大学院生と連名で中国共産党総書記の胡耀邦へ意見書を提出し、政治改革を呼びかけている。1986年には上海の学生運動の計画に関与する。1987年、広州の中山大学の経済学部助教授を務めた。1989年、北京天安門の学生運動に呼応し、広州の民主化運動組織を発足させる。

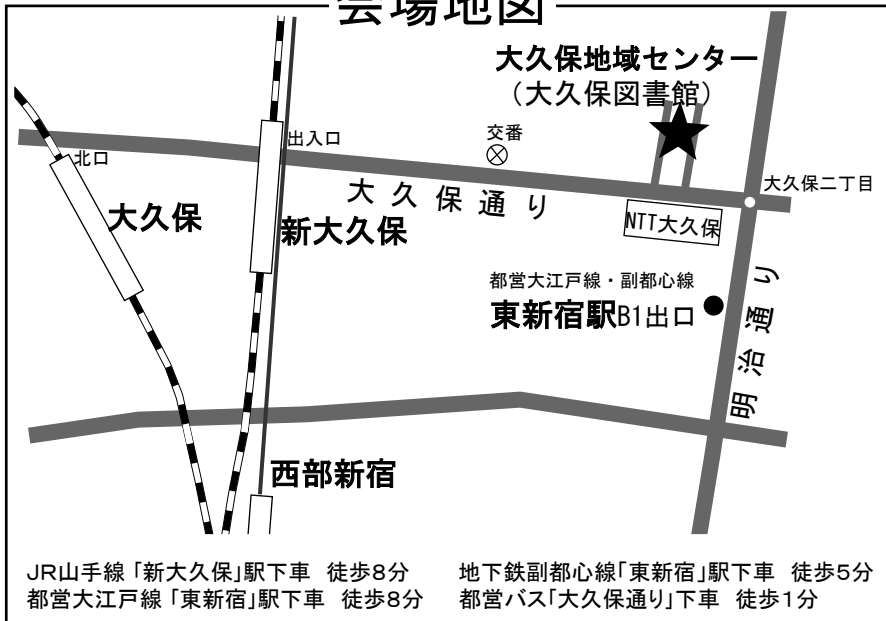
1989年、1993年と2度、4年半投獄された。1994年に、獄中より国連などの国際機関に対して、労働改造所が輸出する商品などの証拠を提供し、中国共産党が人権を無視している状況を非難している。

1996年アメリカに亡命し、コロンビア大学客員研究員となり、後にコロンビア大学の経済学の修士を得る。1997年からラジオフリーアジアの特約評論員に任命された。多くの文章と、時事評論、講演、テレビやラジオのコメント、および報道の自由と民主主義の価値を擁護することにより、多くの読者と高い視聴率を獲得し、北米での有名な言論人となった。またアメリカ、ヨーロッパなど国際シンポジウムにも出席し、台湾やダラムサラなどから招待され訪問している。2007年にアメリカの「万人傑新聞文化基金」の新聞文化賞を得た。

著作は政治、経済、文学などの幅広い領域に渡り、政治的な論文「厚くて黒い中南海」、「中国の百の常識に関して」、小説「台風」、詩集「うわさ」などがある。

※「独立中文筆会（独立中国ペンクラブ）」の代表が、08憲章で現在監獄に入れられている劉曉波氏です。

会場地図



ウイグルに自由を！

ئۇيغۇرلارغا ئەركىنلىك!

主催：ウイグル問題を考える会

ウェブサイト：<http://www20.atwiki.jp/uyghurissue/>

(右のQRコードで携帯からつなげます)

連絡先：uyghurissue@gmail.com



※私たちは世界ウイグル会議、日本ウイグル協会の活動を支援し、連帯していきます。